

都市再生整備計画 事後評価シート
津島市まちなか歴史・文化(駅周辺)地区

令和7年2月

愛知県津島市

様式2-1 評価結果のまとめ

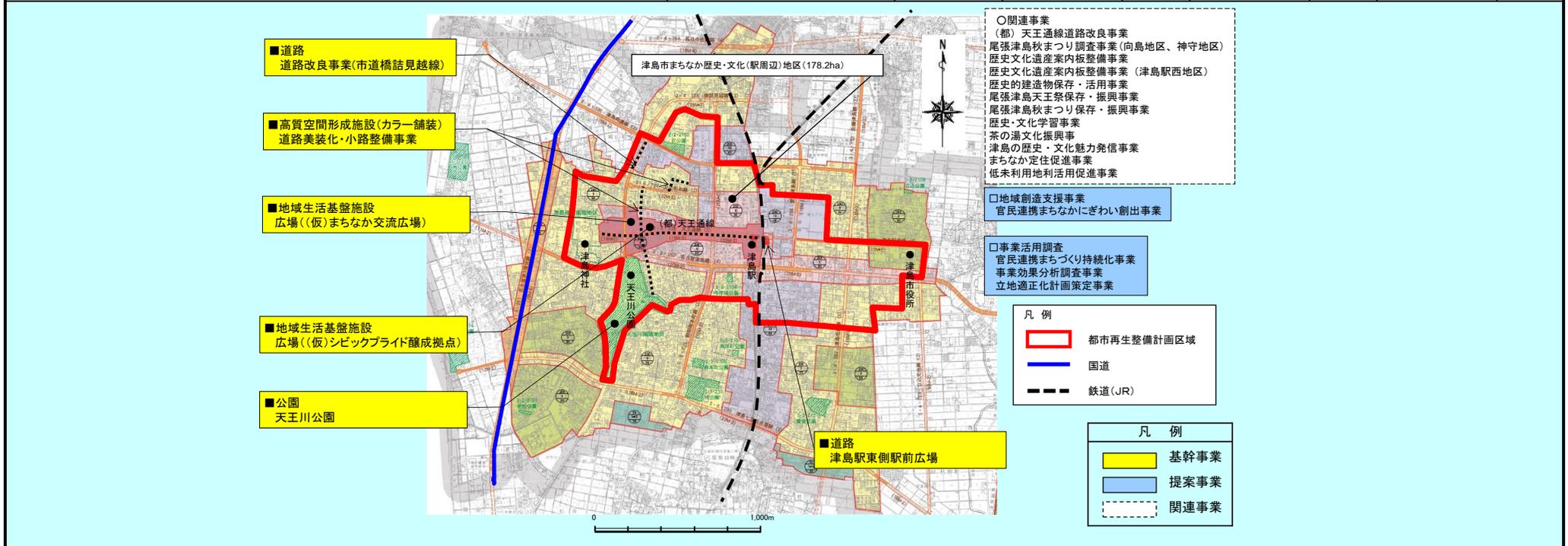
都道府県名	愛知県		市町村名	津島市		地区名	津島市まちなか歴史・文化(駅周辺)地区			面積	178.2 ha			
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	2030	国費率	0.498					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(市道橋詰見越線)、道路照明建替美化事業										
			提案事業	石探祭車収蔵庫建替・修景費助成事業、尾張津島秋まつり調査事業(駅周辺地区)、事業効果分析調査事業										
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路照明建替美化事業	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	石探祭車収蔵庫建替・修景費助成事業、尾張津島秋まつり調査事業(駅周辺地区)、	立地適正化計画の策定し、都市構造再編集中支援事業に移行したことに伴い、都市機能誘導区域外の事業であったため、除外				影響なし					
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(津島駅東側駅前広場)、公園(天王川公園)、地域生活基盤施設(広場(仮)シビックプライド醸成拠点、(仮)まちなか交流広場)、高質空間形成施設(道路美化・小路整備事業)	立地適正化計画の策定し、都市構造再編集中支援事業に移行したことに伴い、新たな事業を追加				立地適正化計画の策定し、都市構造再編集中支援事業に移行したことに伴い、目標値、指標、数値目標を新たに追加					
			提案事業	官民連携まちなかにぎわい創出事業、官民連携まちづくり持続化事業、立地適正化計画策定事業	"				"					
	交付期間の変更		当初	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-					
変更			-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	区域内の平均地価	円/m2	84,417	R2	88,000	R6	モニタリング	評価値	×	あり	道路や公園の整備並びに土地利用の見直しにより一定の成果が得ることができたが、津島駅の再整備や広場整備については用地交渉が難航したことにより事業効果を得ることが出来なかった。		
	指標2	区域内の人口密度	人/ha	94.8	H27	96.0	R6		86.2	×	あり	道路や公園の整備並びに土地利用の見直しにより一定の成果が得ることができたが、津島駅の再整備や広場整備については用地交渉が難航したことにより事業効果を得ることが出来なかった。		
	指標3	歩行者通行量	人/日	442	R2	550	R6		388	×	あり	新型コロナウイルス感染症により、減少した来訪者が徐々に増加していることから、主に通勤通学者数の減少が要因と思われる。新型コロナウイルス感染症による在宅勤務の定着のほか、人口減少により歩行者通行量にも影響が出ているものと考えられる。	R7.3	
	指標4	津島駅乗降客数	人	5,161,070	H29	5,200,000	R6		4,000,000	×	あり	新型コロナウイルス感染症により、減少した来訪者が徐々に増加していることから、主に通勤通学者数の減少が要因と思われる。市内にあった高校の移転や新型コロナウイルス感染症による在宅勤務の定着のほか、人口減少により乗降客数にも影響が出ているものと考えられる。	R7.6	
	指標5	年間観覧者数	人/年	2,436	H30	5,000	R6		1,740	×	あり	新型コロナウイルス感染症の影響による観覧者数の減少を回復することはできなかった。市の来訪者は増加していることから、本施設の観覧車数を増やすため、まちなかの回遊性の向上や新たな利活用方法などを検討する必要がある。	R7.5	
	指標6	アクセス時間	分	12	R1	6	R6		6	○	あり	長期未着手であった都市計画道路を開通することができ、津島神社や天王川公園へのアクセス時間を短縮することができた。		
	指標7	年間観光客数	人/年	1,640,169	H29	1,620,000	R6		1,540,000	△	あり	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数の減少したものの、目標値は達成しなかったが、ピーク時期であるH29時点相当の観光客数まで回復することができた。	R7.4	
											なし	○		

3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	単 位		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の 数値指標1											
	その他の 数値指標2											
	その他の 数値指標3											
4) 定性的な効果 発現状況	・令和3年度から実施している社会実験やシビックプライド醸成拠点整備のための住民ワークショップを行った結果、地域住民がまちづくり活動に積極的に参画するようになった。 ・他市より駅周辺のまちづくりの視察先として問合せが増えた。											
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた					
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	官民連携による 取組	社会実験の実施や住民意見を取り入れた施設整備				都市再生整備計画に記載し、実施できた	●		地域住民が主体的に定期開催できるように支援していく。 地域住民が施設に愛着を感じられるように整備の進捗状況を公開する。			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり 体制の構築	まちづくり活動団体の発掘				都市再生整備計画に記載し、実施できた						
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		令和3年度から実施している社会実験を住民主体の定期イベント化するために支援を行っていく。			
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

津島市まちなか歴史・文化(駅周辺)地区(愛知県津島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:暮らしを楽しみ、誇りと愛着を感じ、そして選ばれるまち つしま 目標1:駅前の賑わいを生み出す魅力的な空間の創出 目標2:自然・歴史・文化が息づく魅力あるまちづくり 目標3:回遊性を高める歩行空間と公共空間を活用した滞在環境向上とにぎわい創出 目標4:誰もが快適に暮らせるまちなか居住の推進	区域内の平均地価	単位:円/m ² 84,417	R2 88,000	R6 82,867
	区域内の人口密度	単位:人/ha 94.8	H27 96	R6 86.2
	歩行者通行量	単位:人/日 442	R2 550	R6 388
	津島駅乗降客数	単位:人 5,161,070	H29 5,200,000	R6 4,000,000
	年間観覧者数	単位:人/年 2,436	H30 5,000	R6 1,740
	アクセス時間	単位:分 12	R1 6	R6 6
	年間観光客数	単位:人/年 1,640,169	H29 1,620,000	R6 1,540,000



まちの課題の変化	本市固有の歴史・文化を活かした取組や天王川公園の再整備により、来訪者を増加させることができたものの、受け入れるための都市基盤や公共空間が不足している。ワークショップや社会実験などを通じて、まちづくりへの意識を向上させることができたが、市民団体などが活動できる場所や新たな交流が生み出せる場所がない。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>当市の正面玄関である津島駅の再整備について、住民意見を取り入れながら、まちづくり包括協定を締結した名古屋鉄道と都市再生機構と協働で検討を進めていく。</p> <p>未整備である都市計画道路の整備を進めていくことで、市街地への通過交通の流入を抑制するとともに、市街地交通の改善を図る。</p> <p>住民が地域に愛着を持てるようにするため、施設の整備にあたっては住民ワークショップ等を行い、企画段階から市の施策に携われる機会をつくる。</p> <p>民間ノウハウを生かし、当市固有の歴史・文化を活用した事業を官民協働で実施する。</p> <p>市街地の低未利用地等を活用し、目的地となる拠点の整備を進める。整備にあたっては、住民に愛着をもって利用してもらえるよう住民ワークショップ等を通じて整備方針を検討するほか、民間事業と連携し、持続可能な施設運営を検討する。</p> <p>住民が生まれ育った本地区に愛着を感じ、将来の定住先として選ばれるよう生活環境の向上を図るとともに、当市固有の歴史文化を維持・継承していく。</p>